

名神名阪連絡道路ってどんな道路？

- ▶ 名神名阪連絡道路は、名神高速道路から新名神高速道路を經由し、名阪国道及び国道165号へ至る地域高規格道路です。平成13年に約30kmが調査区間に指定され、現在に至っています。
- ▶ 近年頻発・激甚化する自然災害への備えや道路ネットワークの形成による物流の効率化等を目的に、本道路に対する需要がますます高まっており、この道路を実現するため周辺の市町で構成される期成同盟会や市議会議員連盟、民間の実現する会などが整備実現に向け精力的に活動を続けています。

▼ 南北ラインの形成による波及効果 ▼

道路は地域生活の基盤となる社会資本であるとともに、経済活動を支える重要な役割を担っています。この道路が整備されることで、産業、医療、観光、災害時への備えなど、さまざまな効果が期待されています。

▼ 期成同盟会とは ▼

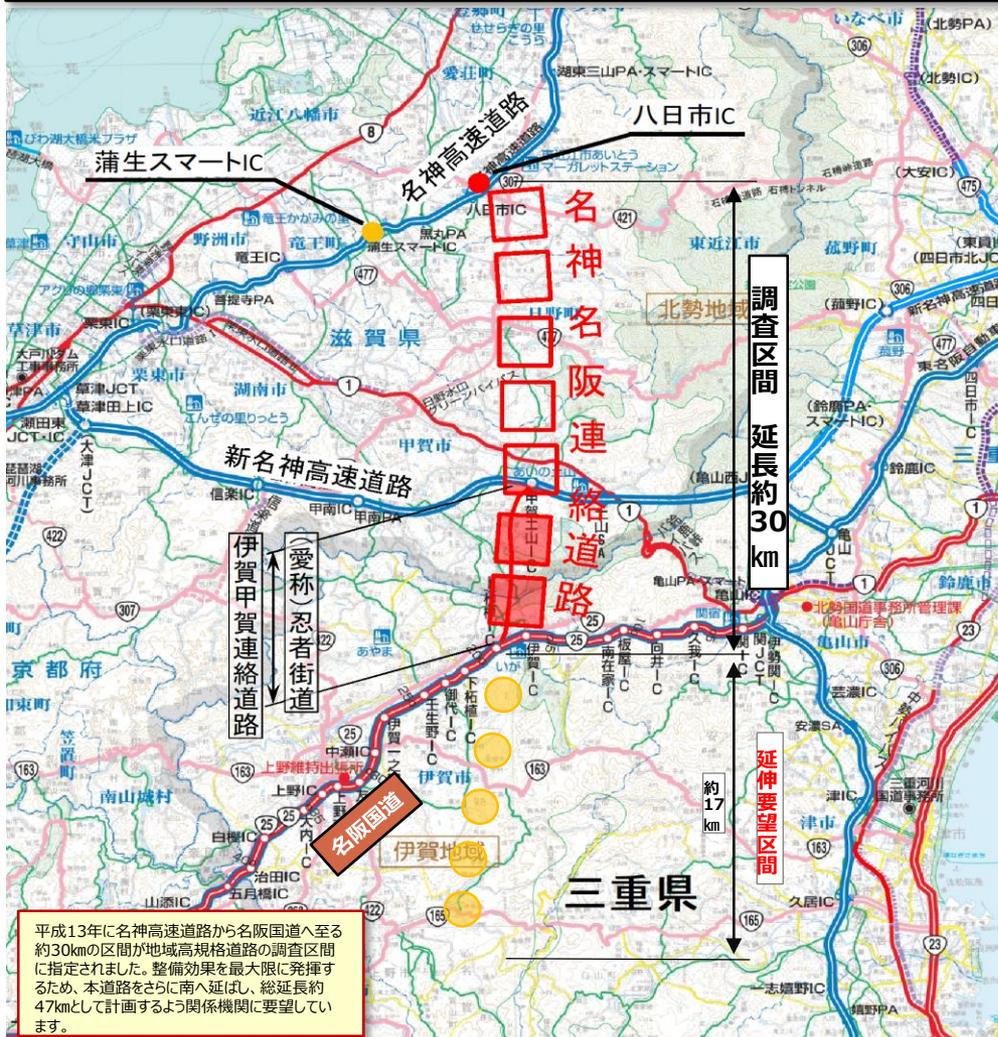
期成同盟会とは、志を同じくする周辺の自治体が集まり、共通の目的のため活動を行う組織です。名神名阪連絡道路整備促進期成同盟会には、滋賀県から「甲賀市、東近江市、近江八幡市、湖南市、日野町、竜王町」、三重県から「伊賀市、名張市」がそれぞれ加盟しています。また、甲賀市と伊賀市の市議会議員から構成される「市議会議員連盟」や民間の団体である「実現する会」が協同し、本道路の早期整備に向け関係団体に要望活動を展開しています。

▼ 地域高規格道路ってなに？ ▼

地域高規格道路とは、高規格幹線道路（高速道路等）を補完し、地域の自立発展や地域間の連携を支える「自動車専用道路またはこれと同等の規格を有する道路」として指定された道路のことを指します。**全国には多くの地域高規格道路が存在し、その多くが整備を待っている状態にあります。**

【活動団体】

名神名阪連絡道路整備促進期成同盟会(会長 甲賀市長 岩永 裕貴)
名神名阪連絡道路整備促進市議会議員連盟(甲賀市・伊賀市)
名神名阪連絡道路の整備区間指定を実現する会(甲賀市・伊賀市)



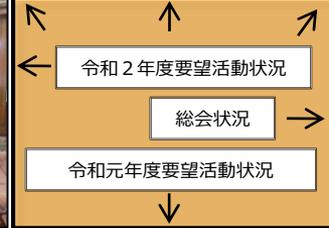
平成13年に名神高速道路から名阪国道へ至る約30kmの区間が地域高規格道路の調査区間に指定されました。整備効果を最大限に発揮するため、本道路をさらに南へ延ばし、総延長約47kmとして計画するよう関係機関に要望しています。

名神名阪連絡道路に関する活動経過

- ▶ 名神名阪連絡道路の早期整備実現のためさまざまな活動を通じ、関係機関への要望や地域への啓発等を行っています。毎年国土交通省や財務省へ早期事業着手のため要望を行っています。
- ▶ 平成30年度には、甲賀市のあいこうか市民ホールにおいて名神名阪連絡道路シンポジウムを開催し、多くの来賓にご出席いただきました。全体で約750名の皆様にお集まりいただき地域の熱意を発信しました。

名神名阪連絡道路の早期事業着手に関する要望活動

名神名阪連絡道路の早期事業着手を目的に、周辺自治体から成る期成同盟会や市議会議員連盟、実現する会等が協同し要望活動を行っています。滋賀県、三重県をはじめ近畿地方整備局や中部地方整備局、また国土交通省、財務省等に要望を行い、早期実現に向けた地域の熱意を発信しています。令和2年度は新型コロナウイルスの拡大を受け規模を縮小したうえで継続的に活動を続けています。



滋賀県・三重県には日本の大動脈が集中している。国土強靱化をもたらし道路である。

自由民主党幹事長
衆議院議員
二階 俊博 様



ドライバーの負担軽減につながり、物流の円滑化は企業にとっても効果大きい。地域の思いが整備を後押しする。

三重県知事
鈴木 英敬 様



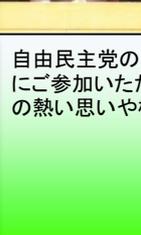
地元の熱意や思いを中央へ届けたい。滋賀県や三重県と共に実現に向け努めていきたい。

自由民主党
滋賀県第4区衆議院議員
小寺 裕雄 様



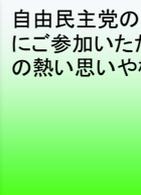
「国土強靱化」に寄与する重要な道路。皆様の期待を背に一路邁進する。

名神名阪連絡道路整備
促進期成同盟会
会長 甲賀市長 岩永 裕貴 様



物流や観光振興に資する道路である。地域生活道路の安全安心のためにも国に強く要望していく。

滋賀県知事
三日月 大造 様



平成30年7月22日開催
名神名阪連絡道路シンポジウム